

憧れの女性^{せんせい}は

痴漢電車^{ちかんでんしゃ}で

調教^{てうきやう}済み^{済み}でした

①

③

まとめ

プラス

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



憧れの女性は
痴漢電車で
調教済み
でした

番外篇

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

こちらの番外編は元はタイツ・ストッキングオンリーで
発行した本のためパンストデーという
謎の設定でお送りしています
鉛筆っぽいラフな感じで仕上げたいと
思いましたがペン設定が全然上手くいきませんでした
編集の都合上、メガネ篇と例のセーター篇が
収録できませんでしたので
また別の機会に収録できればと思います

憧れの女性^{せんせい}は
痴漢電車で
調教済みでした

いつもの時間、いつもの車輛
いつものように
先生の身体は男達に
蹂躪されていた

豊満で柔らかかそうな
おっぱいは
男の手で自在に形を
変え続けていた

モニ

モニ

先生は時折
男達を睨み付けるが
決して大きく抵抗はしない
その真意は
分からぬままだった

カッ



その日はいつもと雰囲気違った
社長がいつものように先生のスカートを
捲り上げると高らかに宣言した

「諸君、今日は予告していた通り
パンストデーだ！」

周りにいる男達が一斉に
色めき立った

「社長！俺この日のために」

「一月オナ禁してきました」

「俺もっス！」

「社長ありがとうございます！」

憧れの女性は痴漢電車で調教済みでした

番外編

毛

「ああ…極上のパンスト脚に
脚コキされながら
パンスト越しのパンティを
眺められるなんて……！」

「お前さんのこと……
俺の番まで手コキで
我慢するしかないな」



「このむっちりとした尻に
フィットしたストッキング！
この感触は今までにない
心地よさだ！」
男は陶然とした表情で先生の
臀部にペニスを擦り付けた

「ああイクッ！」
男は感極まったように
射精した

すべすべサラサラなのに
吸い付くような……
腰が止まらない！
男の腰使いは激しさを
増していくばかりだった

一人の男が先生を背後から抱え込み大きく脚を開かせると
そつと局部を触れ始めた
ストッキング越しにパンティの上に指を押し当てゆつくり動かすと
徐々に湿った音が漏れてきた

カ
カ
カ

カ
カ
カ

モ
モ
モ

男の指先からくちゅくちゅという音に誘われるように先生の吐息の中に甘い声が混じり始める
「お前ら、自分ばかりでなく相手も気持ち良くしてやらなきゃダメだよ」
先生のおっぱいを揉みながら男はニヤニヤしながら指を何度も往復させた

カ
カ
カ

「パンストもいけど
やっぱりほいだろー」

「いやいやフェラだろ」

男達は口々に勝手なことを
言い出し行動し始めた

フェラ

「俺、フェラされるの初めてなんです
よろしくお願ひしますー」

「こ、これがフェラ……」

あつたかくて舌が絡み付いて
こんなの我慢できないー！

「あーパンストはロケルサイテー」

「ロケルサイテー」

「おっほいせ
パンスト脚も何もかもが
気持ち悪いわねー」

フェラ

フェラ

フェラ



「社長！今日ぐらい俺たちに譲って下さいよ」
パンストに群がっていた男達が不満そうに
社長を見る

「清まん、これは私の穴だから譲れんよ」
社長はパンストの一部に手をかけ破くと
乱暴にペニスを捻じ込んだ
そしては愉しそうに先生の膣に
自慢のペニスを激しく抽挿し続けた
抜き挿しのタイミングに合わせ
先生の胸が上下に揺れて劣情を駆り立てた



「ああいいぞ！相変わらずいい締りだ！射精る、射精るぞ！」

社長は興奮を抑えきれず先生のおっぱいを揉みながら手際良く良くシャツを脱がせていったそして腰のグラインドを一層激しくし先生の膈内に射精した

勢い良く引き抜いたペニスからは膈内で吐き出しきれなかった精液が飛び散りストッキングを汚した卑猥な白と黒のコントラストがひどく脳裏に焼きついて離れなかった





憧れの女性せんせいは

痴漢電車で

調教済みでした

この車輛か……

ヤマト

私はその頃
女子校勤務で……
ある日
教え子からの
相談を受けていた

ゴトウ

描き下ろし「Episode 0」

「痴漢に遭っている」
年頃の女生徒の悩みとしては
そう珍しい
内容ではなかったが……

けっ警察にも
相談したけど……
現行犯でない

ダメだって
言われて

周りの人に
助けを求めろって
言われたけど

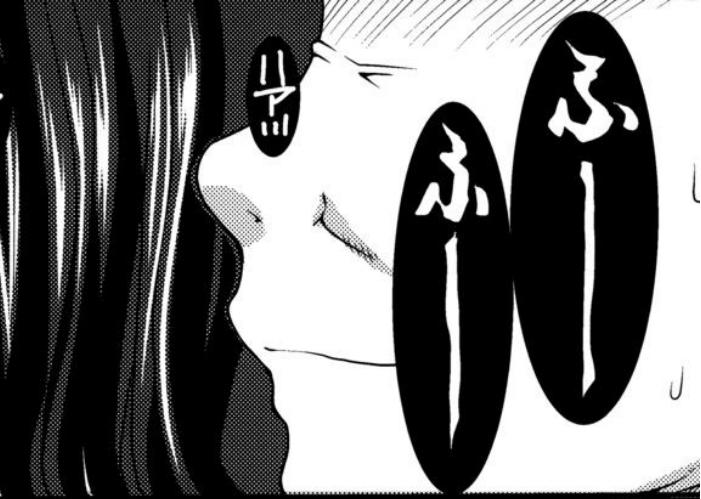
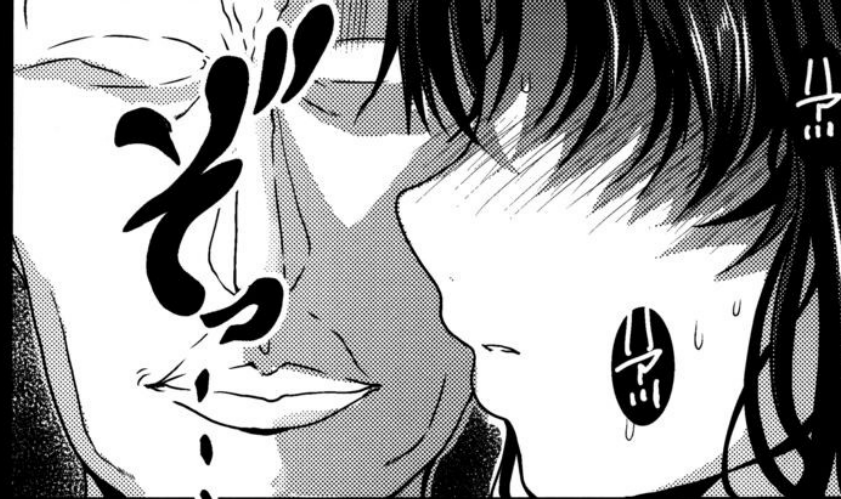
あんなの
無理だよ！

できない！

だって……
あいつら……！

ぞろ

ぞろ



最初は普通の痴漢みたいにちよっと触れてくるだけだったのに

俄かには信じ難い話だったが彼女は真剣だった真実を知る必要がある……



気付いたら困まれてて……!

あいつらに あたし…汚されて!

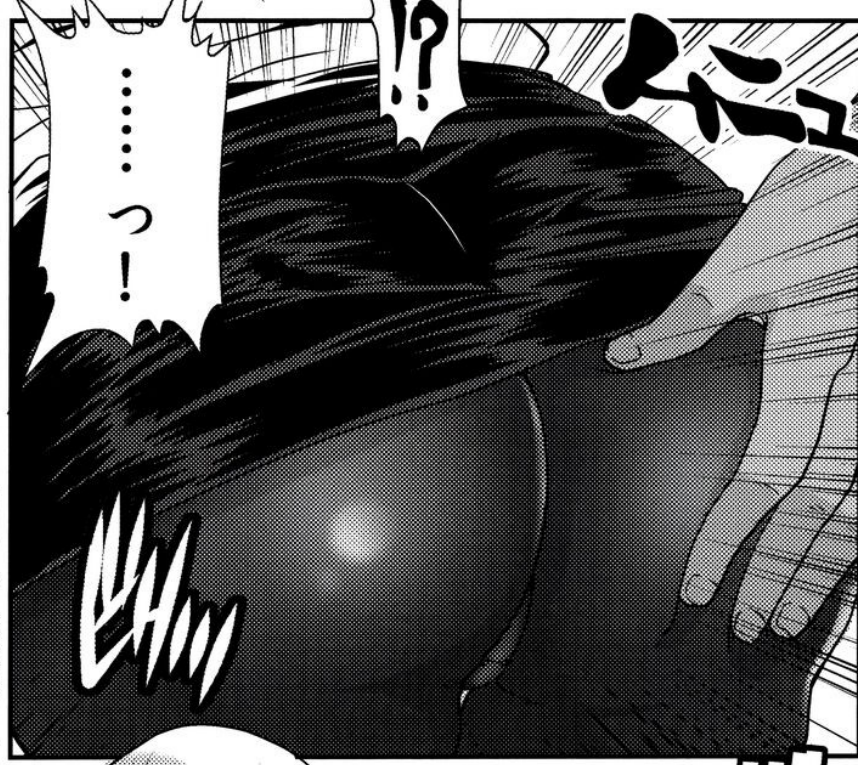


もし本当ならあの娘を救わないと…それが私の使命だと思つた



何だ…?
不自然に人が
集まってきている
ような…??

あれ…?
いつものJKが
いないな



どうやら
こいつらが
あの娘が言っていた
男達のようなな

数人で囲んで
威圧して
逆らえない
ようにしてきた



こいつらが
あの娘を……
間違いない!

ヒッ

キッ



あのJKは
助けてって
泣いて暴れて
たまんなかったな

ポッ

俺は無言で
耐えて睨み付けて
くるこういう女が
ストライクだな

ヒッ

ヒッ



!?

さっ

さっ



警察に
突き出します!

痴漢行為を
やめなさい!

ヒッ

ヒッ

でもあの黒髪ツインテで
髪コキしたかったな

ヒッ

キッ

ヒッ

警察に突き出す？
お、怖い怖い

ヒイッ

うん…でも
無理じゃないかな

ヒイッ

何を
言つて……

だって
ここにいる男はさあ

あ!

みんな
仲間だから!

ガッガッ

離...

全員
仲間...?

おおっ！
おっぱいでっけえ

ぶ...ぶち込む
つて...??

黒スト越しの
パンティの
エロさは勃起不可避

何だね？
期待して
いるの
かね？

あゝ今すぐ
ぶち込み
たいね！

この前のJKなんて
この言葉を聞いたとたん
泣いて叫んだが
最終的には潮噴いて
イってたんだぜ



見るよこの
パイオツ！
揉みしだきがい
ありそー

甘かった……
女一人で
複数の男を
振りほどくことは
難しい

やっぱりオトナの女は
成熟してエロいわく
JKとは違う色気が
匂ってくる



あの娘にも
こうしたのか？

あれれ？
あのツインテJKの
知り合い？

絶対に
裁きを受けさせて
やる！

気持ち良くなれば
考えも変わるって

まあまあ……
怒らないで

ふむ…
つまりあのJKは
もう来ないと
いうことか

残念だ…
我々のいい肉便器に
なりそうだったのに

モムム

何やって…
やめなさい！

肉便器…？
理解不能だった
こんなことイカれている
あの娘はこんな奴らの
せいであんなに…

…!?

ハァ…

ハァ…

ケル

グッ

イヤっ
もうイヤ！

イル

グッ

止めなさい！
そんなことして
何に……

離して！
こんな汚れた体で
生きていたく
ない！

先生！

大丈夫
かすつただけだ
怪我はなかった？
……こんなこと
もうやめなさい
あなたは悪くない

10.11.19...
19.11.19...



いや肉便器にするには
惜しいな……
ワシの女にならんか

そういうこと
なら……
あんたが替わりに
なるのか？



生かすも殺すも
アンタ次第ってことだ



拒否するなら
あの「K」を呼び出して
肉便器に仕立て
上げるしかないが？



まじか……

大人しく
してろって



そつ……そんなこと
許されるわけ
ないだろう！

こうやって
撮影して

弱みを握って
今まで何人脅して
来た？

クッククック
…おや？

これは……

あの娘のことも

このデカ乳を揉まれると
感じるようだなあ
全く最高じゃないか！

ますます
ワシのものにしたい
なつた！



この動画はワシ個人の
ものだからな
消去してやっても
いいのだよ

アンタがワシの出す
条件を飲めば……
だが



愛液
じゅわわ
すっげえ!

お前ら……頭
おかし……ッ

あゝ
たまんね!



社長!
俺の舌技
披露させてください

ヒッヒッヒッ
ヒッヒッヒッ

こいつらは
全員狂ってる……
一人の人間の心も
身体も散々
踏みにじって……

まずはあのレスの
代わりに
あんたが毎朝
この車輛に乗るよ



この男の
舌……ッ

なんて動き……して
反応しちゃ……ダメっ

感じるはず……
ない……っ！



それなら
動画は消して
彼女からは手を引こう

俺のクニニで
ここまで持ち堪えるって
お姉さんやるねえ

舌……中に入って……ッ！
そ……な動き……
やめッ……っ！
それ……いや……っ！



アッ!!

フワッ

こんな……こと

アッ!!



舌っ……
中にっ!

やめ……っ

グワッ
グワッ
グワッ



ひ……っ
んっ

こいつのペロテクは
上手いらしいからな
さすがに効いてる
んじゃないか?



そ……なっ
奥まで……嫌っ

グワッ
グワッ
グワッ
グワッ
グワッ



そろそろ考えが
まとまったかね?
ん?

我慢してるみたい
だけどペロテク
させちゃって
きやわいいね!

こんな状態で……
気を逸らしたら……
他のこと考える
余裕なんて……ッ

グワッ……

グワッ
グワッ
グワッ

条件は理解したかね？
アンタが受け入れれば
JKには関わらない

こんなやつらに
負けるわけには
いかない……！！

受け……
入れる……？

クワミ……

ワシの自慢の
イチモツをな！

JKとアンタの動画も削除する
ワシは約束は守る男だ
ワシのテクニクに耐えられず
自ら望んで腰を振つたら……
その時はワシらの肉便器になつてもらおう

イロシ
イロシ
イロシ

クワミ
クワミ
クワミ

クワミ
クワミ
クワミ

どうだね？
それともワシの女に
なるなら……

ワシは気が短いんだ
早く聞かせてくれ

あんなの女になるのは
お断りだけど
私以外に痴漢をしないと
いうなら受けてやる！

クワミ
クワミ
クワミ

……マ

焦らされた分
ムスコを暴れさせて
やろうじゃないか

こんな男に……
こんな場所で犯される……
誰かに見られるかも
しれないのに……

嫌……
挿入って……!!

ズツツツ

グググ

きつそうな
性格と同じで
腫圧もキツキツとは
参った参った!
犯しがいがあがる!

だけど……
これであの娘は
救えるのなら……
私が耐えれば……
第二第三のあの娘は
出なくなるかもしれない

決めたぞ！
その高いフライドを
へし折って
可愛い声でチンポを
おねだりするように
淫乱に調教してやる！

そんなこと……と……
絶対にありえないっ
この犯罪者ども！

そうかそうか！
楽しみだ！

今日のは
揺れるな……

ゴッ

ブルブル

ガタニガタニ

な……っ
愉しめ……って？

あ……っ！

お前ら！
他の女には
手を出すな！

しかしこれは
奥まで刺さって
具合がいい！
ほれあんたの子宮も
反戻しとるじゃ
ないか！

次から次へと……
こんなふざけたこと
完全にいかれてる

それと……この女に
挿入は禁止だ！
マ○コに挿入する以外は
許可する！
この身体を愉しめ！

ピッ

ピッ



ワシのムスコの
感触に言葉も
ないか？ん？

喘ぎ声の
一つも聞かせて
もらいたいもんだ

コイツの…
太くて硬い……！
なんて力で突いて……ッ

この……
犯罪……者……！



許可出たことだし
おしやべりじゃなく
おしやぶりヨロシク

地獄に
落ちればいい！

ハハッ……

おしやべりする
元気があんなら
しやぶつてやつて
くれ

全く
傷つくねえ



睨まれながらの
イラマチオ
興奮するわ

やつス
これやつス

ん

ん

ん

ん

見ろよ
チンポ全部
隠れたぞ



初めてにしては
かなりいいや
めっちゃ
良かったぜ

ん

こいつら……
完全に人の身体を
性欲処理の道具としか
見ていないのか



マシユマロ
おっぱいで
パイズリ最高!

ん



顔射っ!

ん

ん

ん

バックでやられながらの
フェラといえ
あのJKはなかなか
上手かったな

次は俺のチンポ
おなじやす!

感度のいい
おっぱいちゃんも
使わないと!

この反抗的な
目!
ゾクゾクするね

おいおい
お前から



あ〜いいい！
射精る！

イクよ〜！

生温かい
体液が…胸に
出て…っ
気持ちが悪いっ

おっぱいに
マンコにい
大量射精〜！

ほら
何してんの？

ブル
ブル

ハイ

射精後は
やること
あるでしょ？

生臭…っ！
こんな…苦し…っ
ありえない…っ！

おいおい
お前達

今日が
初めてなんだから
教えてやらねばな

アツそうですね
わかりました
社長！

ハイ口開けて〜！
お掃除フェラチオ
お願いしま〜す

ブルブル

ブルブル

ブルブル

ブルブル



あの娘も
こんな目に...?

そっちは
済んだようだな

それなら
こっちも
済ませるか!



爆発寸前と
言っている!

ワシの
息子も

ちよつともう
ドアが開く時間
でもあるな

よし!
一回目の種付けと
洒落込むか!

男達は
私の身体を道具の
ように扱い吐精をした
これから毎日これが続く...
それを思うと吐き気がした

嫌だっけ?
ぶっかけ派か?
.....おっと!

爆発って...?
まさか...

アッ

っ…あ！

あゝアタの
膣内が良くて
思わず膣内に射精して
しまったようだ
スマンスマン！

やめ……っ

この男
本当に
膣内に……っ！

おーおー
射精が
止まらんわ！



気持ちが悪い……

最低最悪の気分だ
全てシャワーで
洗い流さないと……

トロ

ゴム

あんな奴らが
野放しに
なっているなんて……
きつと今まで何人も
犠牲になったに違いない

あの娘の言葉を……
思いを
もつと真摯に
受け止めていけば……

教師として人として
失格だった……
だからこれはきつと
私に架せられた
罰なのだろう

それならば……
私は……

おつ
来た来た!

これから
よろしく頼むぞ

憧れの女性せんせいは

痴漢電車で

調教済みでした

本来は完結してから出したかった総集編ですが
巻数が増えてしまった上にまだ当分終われないため
再版の費用が懐に痛すぎてつらい……
そして即売会で全部並べるともう置き場がないという事情で
一旦まとめさせていただきます

今までの電車に乗っている先生の心情が謎でもややもやされている
方もいらしたんじゃないでしょうか……
もっと後で触れるつもりでしたが着いてきてくれる方が
いなくなりそうなのでこちらの本を買って下さった方には
明かしちゃうぞ〜と描き下ろしにしました
けっこうダークな事情でドン引きされていないかちょっと心配ですが…

既に刊行済みの5巻まで読んでくださった方はご存知と思いますが
これからの展開としては問い詰めたりアレしたりアレする感じにも
なりますのでコンゴトモヨロシク……

少年に幸せな展開はあるのか？それは言えませんねえ（下衆顔）

ご意見・ご感想
シチュエイクエスト
などお気軽に
お寄せください



匿名のメッセージフォーム
(マシュマロ)にジャンプします

発行 ねことはと/鳩矢豆七

発行日 2021年8月10日(3版)

印刷 有限会社 金沢印刷様 (いつもありがとうございます)

連絡先 hatoya.mameshichi@gmail.com


twitter [hato_ya](https://twitter.com/hato_ya)

**無断アップロード・無断転載・無断複製は一切認めておりません
いかなる事情があろうとも通報します**

商業単行本5冊は電子書籍にてAMAZONやDMM他で配信中です
興味がある方はぜひ

Presented by **ねことほと**

現実での痴漢は犯罪です。二次元限定で！



とある男子校の生徒達の間でおかずナンバーワンと名高い女教師は
毎朝その身を自ら痴漢達に差し出し陵辱されていた
現場を目撃してしまった主人公は痴漢達の卑劣な行為に憤りながらも
日頃と違う先生のあられもない姿に興奮し魅了されてしまう
助ける術はなかったが視姦する日々が続いていたが
痴漢達のリーダーである「社長」と呼ばれる男に気に入られる
それは先生を救い出すチャンスとなるはずだったが……

**2016年発行の1巻から3巻に加筆修正十追加ページ
描き下ろしの新規エピソード1本を収録したまとめ本**